6．教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

【取り組み】

本学では、教員養成段階から、児童・生徒に触れあい、教師の仕事を間近に感じることができる教育現場体験を重視し、様々な機会を学生に提供しています。

◆現代教育研究所主催イベント（教員研修等への参加）

大学が設置する現代教育研究所が主催する教員研修や子ども対象の教育イベント等への積極的な参加を促す。

主な例：先生による、先生のための、先回り研修会（https://saki3.swu.ac.jp/）

◆本学附属園・学校との連携（授業等の観察）

本学附属こども園や初等部、中高部と連携し、授業等の観察や体験の機会を設ける。

◆教育活動等支援事業（教育現場体験）

大学が設置するボランティア支援室が世田谷区教育委員会生涯学習・地域・学校連携課と連携し、世田谷区公立学校へ、学級運営支援、学校行事等支援、部活動支援のための学生を派遣する。

◆よこはま教育実践ボランティア（教育現場体験）

大学が設置するボランティア支援室が横浜市教育委員会（教職員育成課）と連携し、横浜市立公立学校へ、学習支援、個別指導学級での支援、学校行事支援などのために学生を派遣する。

◆館山プログラム（教育現場体験）対象：幼小教職課程

初等教育学科と千葉県館山市教育委員会（生涯学習課）との連携事業。夏季休暇期間中の 3 日間、館山市の公立学校児童生徒の学習教室を開催する。本プログラム実行委員会及び学生の代表が事前に教育長を訪問し、事業の概要を決定。 3 日間の学習内容はもとより、安全確保や送迎保護者への対応など、学科教員の支援のもと、学生が主体的に運営する。

◆ムジカプロジェクト（教育現場体験）対象：幼小教職課程

昭和女子大学・世田谷区教育委員会が連携協力する「乳幼児を対象とした文化・芸術体験事業」の一環として行われるプロジェクト。世田谷区内の公立幼稚園等で、アコースティックな音楽を身近に体験するワークショップを行う。プロの演奏家をゲストティーチャーに招き、学生が主体となり音楽活動を構成・運営する。

◆アメリカ初等教育演習（授業・教育現場体験）対象：幼小教職課程

初等教育学科と本学がアメリカ・マサチューセッツ州に設置する昭和ボストン校の教員が連携し、ボストン近郊の学校・教育現場を訪問し、授業に参加したり、現地の子どもたちに日本文化を紹介したりするなど英語を通じての交流を行う春季休暇期間の特別プログラムです。

◆学校体験活動（大学が独自に設定する科目）対象：幼小教職課程

小学校または幼稚園で、40 時間のボランティアを行う中で、勤務する教職員の教育活動を参観したり補助したりし、教育現場の実情と教育活動の意義、教育技術について学びを深め、自身のキャリア形成を図る。

【その他 】

本学では、教育研究活動の質的向上に向けた全学的なファカルティ・ディベロップメント（略称 FD）活動の推進を図るため、FD 推進委員会を設置しています。 詳細はこちらでご確認ください。